

文法性判断について考える

- 「言おうと思えば言える」ことと「実際に使う」こと -

杉村 泰

名古屋大学大学院国際言語文化研究科

sugimura@lang.nagoya-u.ac.jp

1. 「暑くてならない」は正しい日本語か？

	アンケート（許容度）	コーパス（出現数）
暑くてならない	67.2 %	16 件
暑くてたまらない	98.0 %	7,250 件

2. 調査の概要

調査対象（下線を施した動詞は「～スルナ」の形で命令できる）

心理動詞A（気がする、気になる、気がつく、感じる、感じられる、案じられる、期待される、想像される）、心理動詞B（焦る、慌てる、忘れる、諦める、感動する）、思考動詞（思う、思える、思われる、思いつく、考える、考えられる、考えつく、分かる、分からない）、生理動詞（喉が渴く、腹が減る）、知覚・感覚動詞（見る、見える、聞く、聞こえる、におう、かおる、味がする、痛む）、感情動詞（腹が立つ、怒る、怒れる、笑う、笑える、泣く、泣ける）、動作・変化動詞（食べる、寝る、起こる、沸く）、受身動詞（間違われる、聞かれる）、感情形容詞（寂しい、うれしい、恐ろしい、怖い、楽しい、残念だ、嫌だ、嫌いだ、好きだ）、感覚形容詞（うるさい、苦しい、痛い、冷たい、暑い、寒い、暖かい、涼しい）、味覚形容詞（おいしい、まずい、甘い、^{から}辛い）、属性形容詞（広い、狭い、物価が高い、赤い、静かだ、元気だ）

アンケート調査1（×式）

「 てならない（たまらない、しかたがない）」が言えるなら、言えないなら×のどちらか1つを入れる。2004.11.18～2005.7.13、名古屋大学1年生を対象に実施。「～てならない」は58人、「～てたまらない」と「～てしかたがない」は50人。

アンケート調査2（選択式）

「 て（ ）」に「ならない」、「たまらない」、「しかたがない」、「×」のうち1つを入れる。2006.6.22、名古屋大学1年生50人を対象に実施。

コーパス調査

インターネットのWWWページを使用。検索エンジンはgoo（<http://www.goo.ne.jp>）のウェブ検索を使用。2006.6.3～2006.6.4実施。

3. アンケート調査1 (×式)

日本語母語話者は、「～てならない」は自然にある感情がこみ上げてくることを表す表現、「～てたまらない」は身体的・精神的な感覚や感情を表す表現、「～てしかたがない」は生理的現象を表す表現を典型例と捉えている。

表1 「～てならない」上位10語(許容度)

	なら ない	たま らない	しか たが ない
気がして	91.4	86.0	80.0
思えて	89.7	66.0	88.0
寂しくて	84.5	98.0	90.0
残念で	84.5	76.0	86.0
喉が渴いて	81.0	96.0	94.0
嫌で	81.0	96.0	76.0
うるさくて	81.0	96.0	88.0
気になって	77.6	92.0	100.0
腹が立って	77.6	88.0	98.0
笑えて	77.6	74.0	80.0

表2 「～てたまらない」上位10語(許容度)

	なら ない	たま らない	しか たが ない
寂しくて	84.5	98.0	90.0
暑くて	67.2	98.0	84.0
寒くて	69.0	96.0	86.0
痛くて	65.5	96.0	84.0
うるさくて	81.0	96.0	88.0
喉が渴いて	81.0	96.0	94.0
嫌で	81.0	96.0	76.0
苦しくて	67.2	94.0	80.0
うれしくて	69.0	92.0	92.0
気になって	77.6	92.0	100.0

表3 「～てしかたがない」上位10語(許容度)

	なら ない	たま らない	しか たが ない
気になって	77.6	92.0	100.0
腹が立って	77.6	88.0	98.0
喉が渴いて	81.0	96.0	94.0
うれしくて	69.0	92.0	92.0
寂しくて	84.5	98.0	90.0
思えて	89.7	66.0	88.0
うるさくて	81.0	96.0	88.0
腹が減って	56.9	92.0	86.0
残念で	84.5	76.0	86.0
寒くて	69.0	96.0	86.0

4. アンケート調査 2 (選択式)

同じアンケート調査でも、×式に比べて選択式のほうが一極集中しやすい。例えば「気がしてならない、たまらない、しかたがない」は、×式ではいずれも 80.0%以上の許容度を示すが、選択式では 88.0%以上の人々が「気がしてならない」を選んでいる。

表 4 「～てならない」上位 10 語 (選択率)

	なら ない	たま らない	しか たが ない	×
思えて	88.0	4.0	6.0	2.0
気がして	80.0	10.0	10.0	0.0
思われて	66.0	10.0	20.0	4.0
考えられて	66.0	4.0	12.0	18.0
想像されて	64.0	14.0	18.0	4.0
案じられて	62.0	8.0	24.0	6.0
感じられて	62.0	12.0	22.0	4.0
残念で	62.0	14.0	24.0	0.0
聞こえて	52.0	16.0	16.0	16.0
見えて	52.0	12.0	26.0	10.0

表 5 「～てたまらない」上位 10 語 (選択率)

	なら ない	たま らない	しか たが ない	×
から 辛くて	6.0	72.0	16.0	6.0
寒くて	10.0	70.0	18.0	2.0
暑くて	10.0	68.0	22.0	0.0
痛くて	10.0	68.0	20.0	2.0
恐くて	18.0	68.0	14.0	0.0
まずくて	8.0	68.0	24.0	0.0
苦しくて	18.0	64.0	18.0	0.0
冷たくて	16.0	62.0	14.0	8.0
物価が高くて	2.0	60.0	24.0	14.0
寂しくて	16.0	58.0	26.0	0.0

表 6 「～てしかたがない」上位 10 語 (選択率)

	なら ない	たま らない	しか たが ない	×
気になって	20.0	18.0	62.0	0.0
焦って	30.0	10.0	50.0	10.0
喉が渴いて	20.0	30.0	50.0	0.0
腹が立って	38.0	12.0	50.0	0.0
楽しくて	18.0	32.0	50.0	0.0
泣けて	26.0	26.0	42.0	6.0
腹が減って	16.0	42.0	42.0	0.0
間違われて	24.0	12.0	42.0	22.0
笑えて	42.0	16.0	42.0	0.0
におって	26.0	24.0	40.0	10.0

表 7 「×」上位 10 語 (選択率)

	なら ない	たま らない	しか たが ない	×
寝て	4.0	6.0	10.0	80.0
食べて	4.0	10.0	10.0	76.0
見て	10.0	10.0	4.0	76.0
聞いて	6.0	16.0	4.0	74.0
赤くて	6.0	18.0	10.0	66.0
忘れて	18.0	0.0	20.0	62.0
起こって	4.0	4.0	34.0	58.0
諦めて	16.0	4.0	24.0	56.0
元気で	10.0	10.0	24.0	56.0
泣いて	2.0	6.0	38.0	54.0

5. コーパス調査との比較

選択式アンケート調査はコーパスによる実態調査の結果と一致する。

表8 アンケート調査1 (×式)(許容度)

	ならない	たまらない	しかたがない
気がして	91.4	86.0	80.0
思えて	89.7	66.0	88.0
残念で	84.5	76.0	86.0
から 辛くて	22.4	82.0	64.0
暑くて	67.2	98.0	84.0
痛くて	65.5	96.0	84.0
気になって	77.6	92.0	100.0
焦って	36.2	30.0	68.0
喉が渴いて	81.0	96.0	94.0

表9 アンケート調査2 (選択式)(選択率)

	ならない	たまらない	しかたがない
気がして	80.0	10.0	10.0
思えて	88.0	4.0	6.0
残念で	62.0	14.0	24.0
から 辛くて	6.0	72.0	16.0
暑くて	10.0	68.0	22.0
痛くて	10.0	68.0	20.0
気になって	20.0	18.0	62.0
焦って	30.0	10.0	50.0
喉が渴いて	20.0	30.0	50.0

表10 コーパス調査 (ヒット数)

	ならない	たまらない	しかたがない
気がして	86,339	484	8,188
思えて	86,465	91	27,919
残念で	85,447	6,565	19,400
から 辛くて	0	34	17
暑くて	16	7,250	1,598
痛くて	127	12,779	9,379
気になって	862	2,092	232,052
焦って	0	1	107
喉が渴いて	10	143	829

6. まとめ

アンケート (×式): 話し手の意識として「言おうと思えば言える」かどうかを示す

アンケート (選択式): 話し手が「どれが一番使いやすい」と考えているのかを示す

コーパス : 当該の表現が実際にどのような環境で、どの程度使われているのかを示す

参考文献

杉村 泰 (2002) 「コーパス調査による文法性判断の有効性 「～てならない」を例にして」『日本語教育』114, 日本語教育学会, 60-69.

(2005) 「文の正しさとは何か」『日本語学』9月号, 第24巻第10号, 明治書院, 56-64.